

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画書	
平成30年 6月 27日	
愛知県知事 殿	
提出者	
住 所 愛知県瀬戸市暁町3－143	
氏 名 富士特殊紙業株式会社	
生産本部長 山口 圭介	
（法人にあつては、名称及び代表者の氏名）	
電話番号 0561-86-8526	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	富士特殊紙業株式会社 本社工場
事業場の所在地	愛知県瀬戸市暁町3－143
計画期間	平成30年4月1日から平成31年3月31日まで
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	15 印刷・同関連業
②事業の規模	資本金 1億
③従業員数	509人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙1に記載

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図) 別紙2に記載			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
①現状	【前年度（平成 29年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙3のとおり	
	排出 量	t	t
	(これまでに実施した取組) 製品ロスの削減 FUJI・M・0®による小ロット製品への対応		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙3のとおり	
	排出 量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 製品ロスの削減 FUJI・M・0®による小ロット製品への対応		
産業廃棄物の分別に関する事項			

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 生産システムによる有価物・廃棄物の分別
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 有価物・廃棄物分別の徹底

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		

		産業廃棄物の種類		
		自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	t
		自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	t	t
		(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（平成 2 9 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙3のとおり	
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者へ の 処理委託量	t	t

			再生利用業者への 処理委託 量	t	t
			認定熱回収業者への 処理委託 量	t	t
			認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者 への処理委託 量	t	t
		(これまでに実施した取組) 処理業者への立ち入り調査			

(第5面)

	②計画	【目標】			
		産業廃棄物の種類	別紙3のとおり		
		全処理委託 量	t	t	t
		優良認定処理業者への 処理委託 量	t	t	t
		再生利用業者への 処理委託 量	t	t	t
		認定熱回収業者への 処理委託 量	t	t	t
		認定熱回収業者以外の熱 回収を行う業者への 処理委託 量	t	t	t
		(今後実施する予定の取組)			

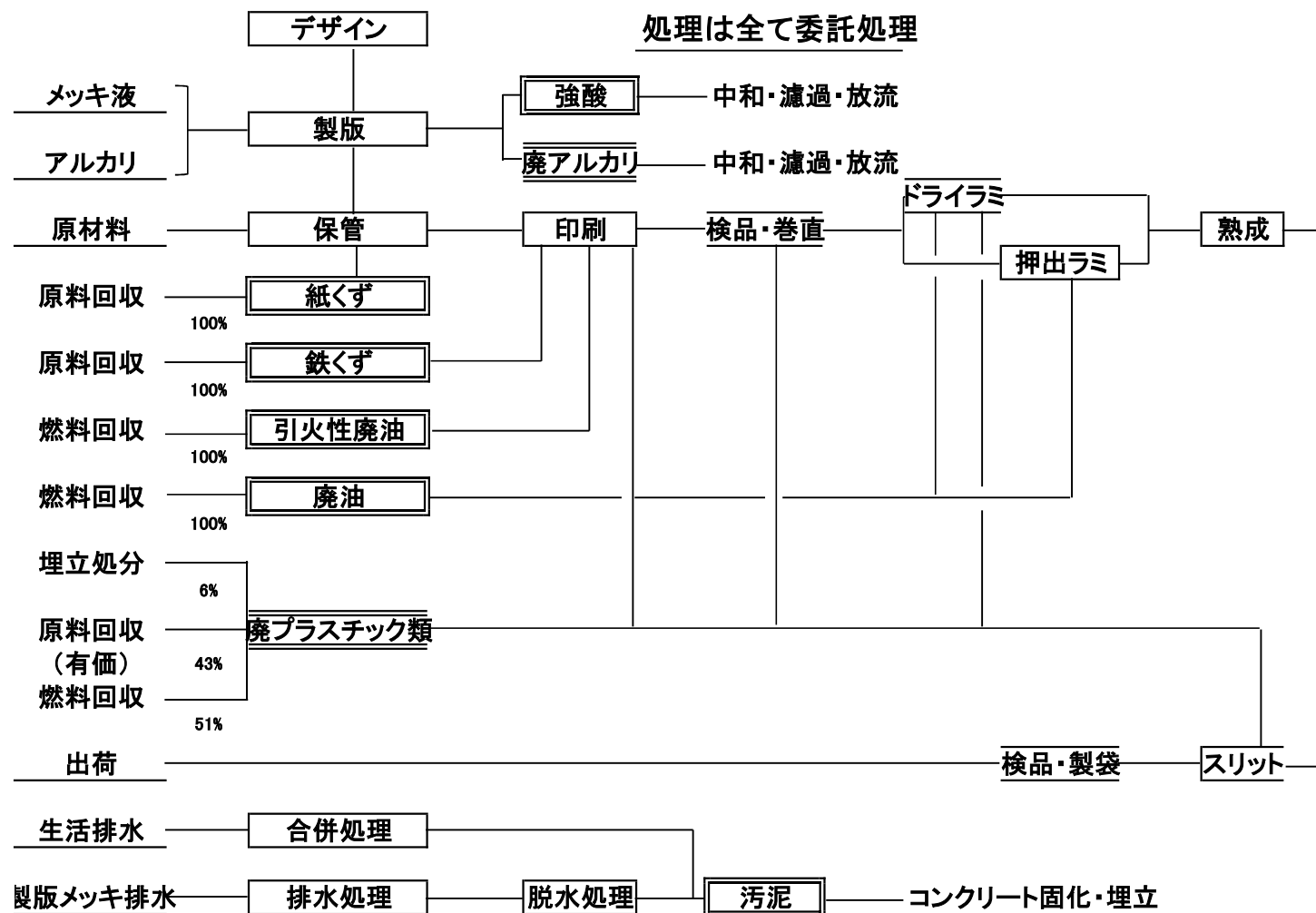
※事務処理欄	
--------	--

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が 1,000 トン以上の事業場ごとに 1 枚作成すること。
- 2 当該年度の 6 月 30 日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ① 欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ② 欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④ 欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第 6 条の 11 第 2 号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第 15 条の 3 の 3 第 1 項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が 3 以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

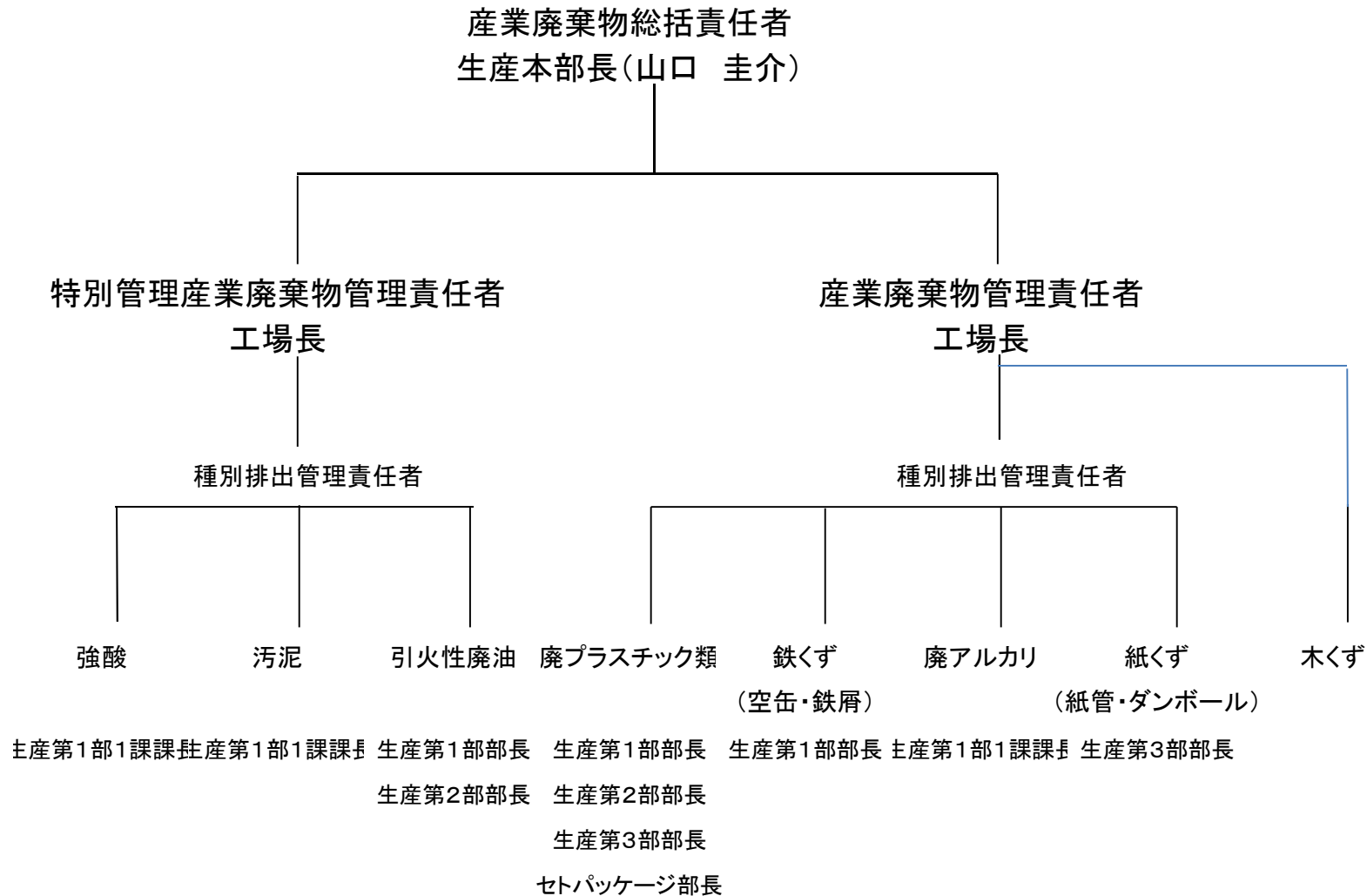
産業廃棄物発生・処理フローシート

別紙ー1



廃棄物管理組織図

別紙一2



(別紙3)

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

単位:t

①現状	【前年度(平成 29年度)実績】				
	産業廃棄物の種類	廃プラ	木くず	金属くず	廃アルカリ
	排出量	1422.1	11.1	12.6	12
②計画	【目標】				
	産業廃棄物の種類	廃プラ	木くず	金属くず	廃アルカリ
	排出量	1422.1	11.1	12.6	12

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度(平成 29年度)実績】				
	産業廃棄物の種類	廃プラ	木くず	金属くず	廃アルカリ
	全処理委託量	1422.1	11.1	12.6	12
	優良認定処理業者への 処理委託量	364.3	11.1		12
	再生利用業者への 処理委託量	1057.8		12.6	
	認定熱回収業者への処理委託 量		t		
	認定熱回収業者以外の熱回収を 行う業者への処理委託量	t	t		
	【目標】				
②計画	産業廃棄物の種類	廃プラ	木くず	金属くず	廃アルカリ
	全処理委託量	1422.1	11.1	12.6	12
	優良認定処理業者への 処理委託量	364.3	11.1		12
	再生利用業者への 処理委託量	1057.8		12.6	
	認定熱回収業者への処理委託 量		t		
	認定熱回収業者以外の熱回収を 行う業者への処理委託量	t	t		